

一般社団法人 室蘭観光協会
平成29年度 事業計画書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年度 事業計画

■活動方針

今年度は、平成30年の白鳥大橋開通20周年と岩手県宮古市とのフェリー就航、さらに「北海道」命名から150年になるなど、様々な節目を翌年に控え、これまでの行事内容等を見直し、翌年以降への対応に向けた準備の年となります。

今や室蘭観光の代名詞となった夜景鑑賞をはじめ、食の観光との連携や、全国的にも類を見ない滞在型フォトコンテスト「撮りフェスin室蘭」の継続開催等の新たな室蘭の魅力発信に繋がる事業に取り組みます。また、観光資源の活用として、地域のストーリーを観光に活かす取り組みとして北海道の近代化を支えた空知地域・小樽・室蘭の3地域を結ぶ「炭鉄港」プロジェクトへの継続参加、歴史的建造物の活用やまち歩き促進等により、交流人口や滞在人口(ある都道府県・市町村に2時間以上滞在した人数)の増加を図ります。

広域的な取り組みについては、北海道登別洞爺広域観光圏協議会や北海道観光振興機構等との連携により、来年就航するフェリーと従来の航空機、そして昨年開業した北海道新幹線による多様なルートの周遊型観光を促進し、観光客の取り込みを目指します。

情報発信については、パンフレットや案内地図などの内容の見直しや、撮りフェスin室蘭の作品を活用したポスター等の作成を行うと共に、来る2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や白老町のアイヌ民族博物館の国立博物館化等を見据え、旅行形態が団体から個人・グループへと変化し、当地においても増加が見込まれる外国人旅行客に向けた多言語の対応等により、積極的な情報提供に努めます。

指定管理者業務においては、引き続き各施設における展示物の充実や利便性の向上により利用促進を図るとともに、各施設同士の連携や、観光の中核エリアとなる祝津・絵鞆地区の施設や商店街とも連携させて、周辺地域への波及効果を促進します。

また、新規会員の勧誘に努め、組織体制強化を図ると共に、室蘭市民観光ボランティア協議会やむろらん観光ツアーガイドの会と連携したホスピタリティの向上、観光関係団体や市民団体、行政との連携を深め、魅力あふれる室蘭地域の観光振興に向けた活動を積極的に展開して参ります。

本年度において計画・予定している事業の概要については、次のとおりです。

■事業概要

(1) 観光宣伝と観光客の誘致促進

- 各種リーフレット、ポスター等の作成・頒布
- ポスター・パンフレット等の内容ならびにデザインの見直し
- 旅行雑誌などを活用した観光情報の発信
- ホームページ・ブログの更新

- (2) 観光施設の整備、改善の促進
 - 観光地の案内整備(多言語化等)
 - 客船等寄港時の歓迎対応
- (3) 接遇の改善及び観光意識の普及向上
 - 室蘭市民観光ボランティアガイド協議会、むろらん観光ツアーガイドの会への運営支援
 - 各種研修会・講習会等の実施
- (4) 観光土産品と観光特産酒類等の紹介、宣伝及び提供
 - みたら売店における取扱商品の拡充
- (5) 観光資源の保護及び活用の促進
 - 夜景・ものづくり観光(産業観光)の普及・活用
 - 食の情報発信による滞在時間の増大促進
 - 歴史的建造物やまち歩きなどの新しい観光資源の活用方法の検討
 - 映像作品や写真を活用した地域PR(撮りフェス in 室蘭)
 - ロケ地観光などのニューツーリズムの促進
- (6) 観光諸行事の企画及び実施
 - 第66回測量山山開き(5月中旬)
 - 第71回むろらん港まつり(7月28日～30日:予定)
 - 市内イベントの支援(スワンフェスタ・さかなの港町同窓会・地球岬初日の出等)
 - 姉妹都市等との観光と物産展(於:上越市)
 - 観光プロモーション・物産展等への参加
 - 全道・全国各種大会支援
- (7) 観光事業の調査研究と観光情報の収集及び提供
 - 旅行商品に向けた観光モデルコースの調査・設定
 - 教育旅行(修学旅行)に対する対応
- (8) 観光関係諸機関との連携
 - 室蘭観光推進連絡会議
 - 室蘭カレーラーメンの会の事務局支援
 - 北海道登別洞爺広域観光圏協議会、北海道新幹線×nittan 地域戦略会議等の広域観光事業実施団体
 - 北海道観光振興機構、北海道胆振総合振興局
- (9) 公共施設等の管理運営受託
 - 指定管理施設の管理運営(市立室蘭水族館・白鳥大橋記念館・旧室蘭駅舎)
- (10) その他、目的を達成するために必要な事業
 - 会員の情報収集・整理、新規会員募集
 - 会員への情報発信